



第45号 2016年 町田

俊風会 NEWS

日本維新の会 伊藤しゅんすけ Shunsuke Ito

〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873

Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>



維新、100本議員立法提出。

先の参議院選挙では515万票を越えるご支持を頂き、単独で議員立法を提出できる権限を与えて頂きました。政党名を「日本維新の会」に改め、身を切る改革を中心に100本の議員立法を提出し、政策実現して参ります。

これまで、公務員給与引き上げに自公民が賛成し、維新は反対をしております。この5年、国会議員歳費は月額26万円20%も上がり、国家公務員歳費が約4000億円、地方公務員歳費も約2000億円上がりました。国民には増税負担、逆に国会議員と公務員の給与は上がっています。どんなにいい政策を語っても、財源をどうするのが大事です。自公は、国民に増税負担を求め、民進は、新たな赤字国債を発行し、借金を増やして財源をつくるが、維新は、身を切る改革で財源をつくります。また、身を切る改革によって増税なしで、12.3兆円の財源を捻出し、教育完全無償化などを実現します。(大阪は既に私立高校まで無償化を実現)。



- 1、国会議員定数30%、国会議員歳費30%削減します。(大阪は、府議会定数20%、歳費30%削減)
- 2、国会議員年間1200万円の文書通信交通滞在費(領収書なし、報告なし、税金なし)の使途公開(維新の所属議員はHPで既に公開中)
- 3、企業団体献金の禁止(維新は既に実施中)
- 4、公務員の国・地方人件費5兆円、公務員数30%削減します。
- 5、出資法人数64%削減し、出資法人への天下りも60%削減します。
- 6、教育予算を3.7兆円増やします。
- 7、幼児教育から大学まで教育完全無償化を実現します。
- 8、維新所属の国会議員歳費20%を熊本震災へ寄附(実行中)

GDP成長率ゼロ、日本だけが成長していない。

—自民・民主・公明の3党の増税による財政再建は間違っている—

増税で財政再建した国はどこもない。3年前、自公民の3党で安易な増税を決めてしまいました。その結果、雇用は非正規が増え、消費が減ってGDP成長率もゼロ、先進国で日本は最低です。更に国民の格差が広がっています。維新は、身を切る改革で11年連続赤字続きだった大阪の財政を、橋下徹が知事就任以来、以後8年間黒字で経営しています。大阪で実証された財政再建を今度は日本全体で挑戦します。

その他の政策

- 年金＝人口が増え続ける時代に創られた年金(賦課方式)は少子高齢化時代には対応出来ず、1日も早く積立方式に変えるべきです。いま20代は、納付額より受給額がマイナス2400万円に。
 - 待機児童＝幼稚園の定数は207万人ですが、実際の在園数は140万人で、幼保一元化すればまだ67万人受け入れ出来るはず。また幼児教育無償化実現で待機児童解消できます。
 - 原発＝安全でも安価でもなく最終処分地もない再稼働に反対。再生可能エネで新しい文明へ挑戦
 - 安保法制＝自衛隊の歯止めなき海外派兵には反対。北朝鮮の脅威など現実的な対応を想定。
 - 憲法改正＝与党だけでは3分の2に届かず、維新がキャスティングボードを握る形となりました。
- 維新は、教育完全無償化や地域主権改革(道州制)、憲法裁判所設置を憲法改正で実現します。
- TPP＝維新は賛成。これまでTPP反対だった自民が政権をとったら賛成に変わり、逆に旧民主は、賛成だったのに政権を失ったら反対に変わった。競争から逃げずに国益になるマーケットを勝ち取る。

今こそ、東京から政治を変えるチャンス！

豊洲問題では、いつ誰が盛り土から地下空間に計画変更したのか不明で責任をとるものもないのが現状です。未だに都庁の責任者から国民に対し、なんら説明がなされていないことも問題です。これまでのプロセスの解明と同時に、最優先なのは、結果的に安全かどうかです。まず2年間全9回の土壌汚染モニタリング調査で8回目にして基準値を越える汚染物質が出たこと、地下空間を含む建物の耐震など、いずれにしても対応に時間がかかれば、その間の民間業者への賠償なども早急な対応が迫られます。

またオリンピック問題においては、膨れ上がっている予算において、3つの競技場の見直しを提案していますが、率直になぜここまで経費が膨れ上がるのか説明が必要とともに、全体の予算を都も国も把握できていない現状も問題です。3会場をみても、有明アリーナ(バレー)176億円から404億円(2.3倍)、海の森水上競技場(ボート・カヌー)69億円から491億円(7倍)、アクアティクスセンター(水泳)321億円から683億円(2倍)に膨れ上がっています。

議会改革においては、都知事報酬半減を公約としていますが、都議会議員は報酬年額2420万円で、更に議会に出席する度に、交通費1万円(多摩地区1万2千円)支給される費用弁償もあり、「維新」は既に都議会議員報酬3割カットを提案し、費用弁償を受け取らず供託しています。

来年夏の都議会選挙では、町田市は定数が1つ増えて4議席になり、また多摩市の定数2議席においても維新は独自候補を擁立します。小池都知事の改革に期待しながら、政策的に判断し協力していきます。

43万人の健康と命を守る、町田市に救命救急(大学)病院を。

町田市は43万人もいて救命救急(大学)病院が1つありません。救急車の受け入れ先がなく出発できないケースも多いです。脳や心臓など市民病院で処置が出来ない場合は、北里病院や聖マリアンナ病院に搬送される初動の40分が命取りになります。八王子市には大学病院が2つ、相模原市には北里病院、14万人の多摩市には日医大病院が黒字で経営しています。なぜ、43万人の町田市に救命救急(大学)病院がないのか。これまで多くの業界団体は新規参入や競争を嫌い、組織を守るために政治家を支援し、当選した政治家は、業界団体を守ってきました。これが、政治のしがらみです。私は、業界団体ではなく、43万人の市民の方を向いて政治を行います。



- ・鶴川駅南側駅前広場の実現と鶴川駅を橋上化で渋滞解消し、急行駅に。
- ・多摩センター駅—鶴川駅—東急こどもの国駅の南北を結ぶモルレル構想の実現。
- ・小田急線の小山田・相模原駅への乗り入れ早期実現へ
- ・北部丘陵を首都圏一魅力ある都市公園に
- ・相原の横浜線と町田街道のアンダーパス実現(渋滞解消)

- ・1979年8月5日 町田生まれ、町田育ち
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤俊輔プロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点(あと635票)

第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。

再び挑戦を続ける！

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:
ご住所:

TEL:

FAX:

MAIL: